

谷井いさお 県政レポート



尼崎市内に障害児者のための 県立リハビリテーションセンター開設!

阪神地域には、障害児者が一貫して診てもらえるリハビリテーション施設が存在しておらず、阪神地域の脳性まひ等による肢体不自由者は大阪のリハビリテーション病院まで通院しており、多大な負担を強いられていました。障害者団体や保護者等からの強い要望があり、早期に、県東部に障害児者に対応したリハビリテーション施設を設置するよう県に提議して参りました。これを受け兵庫県では、令和2年2月より、阪神尼崎駅近くの商業施設アマゴッタ内に「兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター」が開設する運びとなりました。



開設が決まったアマゴッタ外観



リハビリテーション室完成イメージ

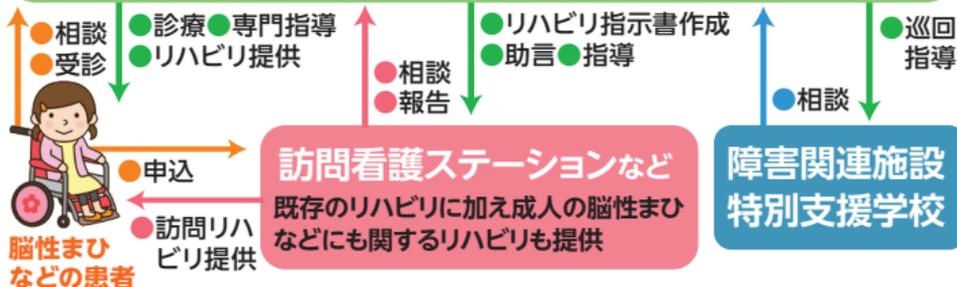
当センターは幼児・学童期だけでなく、成人期以降も、専門的なりハビリテーションを行い、自立性の維持向上を支援し、地域の訪問看護ステーション等との連携による兵庫モデルを構築します。

「兵庫モデル」イメージ

兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター

- 診察・リハビリ・評価
- 相談
- 巡回指導
- 連絡会議

専門医師(PT・OT・ST・MSW)



訪問看護ステーションなど
既存のリハビリに加え成人の脳性まひ
などにも関するリハビリも提供

障害関連施設
特別支援学校